

配布資料

教育長定例記者会見

日時：令和3年6月16日（水）11：00

場所：危機管理センター 災害対策室5・6

<広報事項>

○令和3年6月－7月の広報事項<教育委員会>

..... 2

<話題提供>

○文部科学省 マイスター・ハイスクール
(次世代地域産業人材育成刷新事業) について

..... 4

令和3年6月～7月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場 参加料（有料・無料の別）・事前申込の有無等	所属 （課名、室名、 機関名、学校名）	問い合わせ先 （担当者名、電話・ 内線番号）
① 学校行事、募集等				
6月14日(月) 10:00～	第42回近江牛 精査枝肉共励会 の出品について	学校で生産している黒毛和牛を2頭出品し、枝肉の品質等を競うコンクールに参加します。これまで毎日、肥育管理をして丹精込めて育てた近江牛を、生徒の学習成果の発表として品評会に参加します。 ・場 所：滋賀食肉センター ・搬 入：6月9日(水) ・共励会セリ：6月14日(月) ・事務局：「おうみ」和牛繁殖協議会	県立長浜農業 高等学校	丸岡 彰太 0749-62-0876
6月19日(土) 10:00～12:00	夏の製品発表会 (販売会)	授業で製作した製品（花苗、木工製品、窯業製品、縫工製品など）を販売します。 ・場 所：長浜北星高等養護学校中庭駐車場および その周辺	県立長浜北星 高等養護学校	北村登志子 0749-62-0920
6月21日(月) 7:00～	2021//「近江 牛」グランプリ 枝肉共進会(第9 回)への出品に ついて	学校で生産している黒毛和牛を1頭出品し、枝肉の品質等を競うコンクールに参加します。これまで毎日、肥育管理をして丹精込めて育てた近江牛を、生徒の学習成果の発表として品評会に参加します。 ・場 所：滋賀食肉センター ・搬 入：6月17日(木) ・共励会セリ：6月21日(月) ・事務局：(一社)滋賀県畜産振興協会	県立長浜農業 高等学校	丸岡 彰太 0749-62-0876
6月21日(月) 11:00～12:50	長浜市豊公園 園芸科草花分野 による花壇植栽 活動	長浜城内にある豊公園にて、学校で種子から栽培した草花を使って、自らがデザインした花壇の植栽活動を行っています。植栽後は、地元シルバー人材センターの方に依頼し管理していただき、長い期間訪れるお客さんに花を身近に楽しんでもらえるよう計画しました。 ・場 所：長浜市豊公園	県立長浜農業 高等学校	春本 大輝 0749-62-0876
6月24日(木) 9:45～12:15	滋賀盲スポーツ 交流祭について	盲学校では、戦後すぐから陸上記録会が行われています。視覚に障害がある児童生徒が全力で走る工夫がされた『100M円周走』が伝統となっています。その他にも、投げる・リレー等の種目もあります。 ・会場：滋賀県立盲学校 グランド	県立盲学校	福田 建夫 0749-22-2321
7月2日(金) 13:45～17:00	日野高カフェ	日野高校で「商品開発販売実習」を選択している生徒が、地域の方々との交流や、商品開発、原価計算などの学びを目的に、カフェを運営します。 ・会場：日野駅舎内「なないろ」	県立日野高等 学校	奥村 源 0748-52-1200
7月3日(土) 7月4日(日) オンライン開催	地域みらい留学 フェスタ	全国から入学募集を実施する高等学校が集まる説明会が6月～10月に実施され、信楽高校も参加します。今回の説明会は、オンライン開催で、全国から70校の学校がPR活動を繰り広げます。もちろん県内の中学生や保護者も視聴していただけます。 ・場 所：地域みらい留学HP https://c-mirai.jp/events/joint ・参加料：無料	県立信楽高等 学校	大前 慶和 0748-82-0167
7月8日(木) 10:00～12:00	うしかい田んぼ アートにおける キックオフ活動	しがのふるさと支え合いプロジェクトに参加しているうしかい田んぼアート実行委員会と協働し、今年度から本校が田んぼアートのデザイン画を担当します。その活動を理解するために、本校で実行委員会の方から田んぼアートの説明を聞き、その後信楽高原鐵道に乗り、車窓から田んぼアートを見学します。この活動を通して、生徒たちは来年田んぼに描かれるデザイン画に思いをふくらませます。 ・場 所：信楽高校、信楽高原鐵道、水口町牛飼 ・参加生徒：デザイン系列の2,3年生	県立信楽高等 学校	大前 慶和 0748-82-0167

令和3年6月～7月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場 参加料（有料・無料の別）・事前申込の有無等	所属 （課名、室名、 機関名、学校名）	問い合わせ先 （担当者名、電話・ 内線番号）
7月11日（日） 13:30～16:20	国際バカロレア 説明会	国際バカロレア・ディプロマプログラムが2020年度から県立虎姫高等学校で始まりました。「国際バカロレアとは何か」「どんな授業なのか」「どのような力が身に付くのか」について、虎姫高等学校での取組・実践を中心にわかりやすく説明します。 ・会場：米原市米原学びあいステーション ・対象：県内小中学生とその保護者、中学校教員および義務教育学校後期課程の教員等	高校教育課	比良 正仁 077-528-4575 （内線4575）
7月14日（水） 14:00～17:00	卒業後に在留資格の変更が必要な高校生のためのキャリア支援について	甲賀市、大阪出入国在留管理局の主催で、信楽高校においてキャリア支援が行われます。卒業後に困らないために早期から備えてもらうための取組です。本校の生徒や保護者だけでなく、甲賀市の学校に通っている生徒とその保護者、学校の先生も対象としています。卒業後の在留資格変更についての講演と個別相談会が実施されます。 ・場所：信楽高校セミナーハウス ・詳細：甲賀市役所政策推進課	県立信楽高等学校	大前 慶和 0748-82-0167
② 研修・会議等				
7月8日（木） 13:30～16:30	学校を核とした地域力強化プラン研修会（新規導入市町対象）	家庭や地域と学校との連携・協働活動の充実を目指して、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）や地域学校協働活動の新規導入および今後導入を推進する市町・学校に対して、講演や事例発表を通して、具体的な体制整備に向けた手立てを学ぶ機会とします。 ・会場：県庁東館7階大会議室／オンライン参加 ・対象：コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を今後導入予定またはR3年度に導入する市町担当者および市町立校園関係者 ・参加料：無料	生涯学習課 地域・家庭教育係	石田 由美 ・山浦 良平 077-528-4654 （内線4654）
7月20日（火） ～8月31日（火） オンデマンド配信	県立学校コミュニティ・スクール推進事業研修会	県立学校におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の有効的な取組に係る講演や事例発表を通して、円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資することを目的とします。 ・オンデマンド配信 ・対象：県立学校教職員、「学校を核とした地域力強化プラン」事業担当者、学校運営協議会関係者 等 ・参加料：無料	生涯学習課 地域・家庭教育係	石田 由美 ・山浦 良平 077-528-4654 （内線4654）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、掲載している催し物が中止・延期になる可能性があります。事前にお問い合わせください。

記者発表資料

提供年月日：令和3年(2021年)6月16日
部 局 名：滋賀県教育委員会事務局
所 属 名：高校教育課学校経営支援係
担 当 者 名：金田 知也
電話(内線)：077-528-4573 (4573)
E - m a i l : ma09@pref.shiga.lg.jp

文部科学省マイスター・ハイスクール事業 (次世代地域産業人材育成刷新事業)について

文部科学省「マイスター・ハイスクール事業」に、指定校を県立彦根工業高等学校、管理機関を県教育委員会、彦根商工会議所、彦根市として申請したところ採択され、以下のとおり実施しますのでお知らせします。

1 文部科学省マイスター・ハイスクール事業について

産業界と専門高校、地方公共団体が一体となって、第4次産業革命・地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず革新し続ける職業人育成システムの構築を行う。全国17件の申請に対して、採択は12件。

2 事業名

変化への挑戦(Challenge for Change)

～進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成～

3 事業概要

絶えず革新し続ける最先端技術と滋賀の風土が培ってきた伝統産業等の技と心を生かし、専門高校（彦根工業高等学校）、地域産業界（彦根商工会議所）、地域（彦根市）が一体・同期化し、郷土愛にあふれた人材育成によって地域を活性化させる。

4 育成をめざす人材像

○高い倫理観を持ち、地域の産業を支えられる人材

○高い技術力を持ち、ものづくりの現場でリーダーシップをとり、イノベーションを起こせる人材

○地域への愛着と地域の発展と活性化に貢献したいという強い意志をもつ人材 等

5 育成する資質・能力

○人間力

- ・生涯学び続けようとする意欲
- ・コミュニケーション能力・リーダーシップ

○地域の伝統産業の技に繋がる基礎的なものづくりの知識・スキル

- ・ものづくりの歴史と「三方よし」の精神を踏まえた「近江の心」
- ・第四次産業革命にかかわる最先端技術

○変化をチャンスに転換する力

- ・社会的課題を付加価値に転換できる想像力・創造力 等

6 具体的な取組

○学校設定科目「近江マイスター」の実施

- ・高等教育機関による最先端技術(ロボットやICT)やものづくりに関する講義
- ・地域企業の最先端技術、伝統技術等の見学・体験

○マイスター・ハイスクールCEO（事業全体の統括）、産業実務家教員（実習等において技術・知識等について生徒を直接指導）の配置

○高等教育機関等とビッグデータ分析などICT・デジタル教育で連携 等

7 連携機関

彦根市、彦根商工会議所、滋賀大学、滋賀県立大学等、
株式会社 SCREEN ホールディングス（マイスター・ハイスクールCEO）、
株式会社清水合金製作所（産業実務家教員）

変化への挑戦(Challenge for Change)～進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成～

事業目標

- 築き上げてきたものを継承し新たな価値を創出していく力を育成する
持続可能なシステムを構築する。
- Society5.0時代における、DX等新しい技術革新にも対応できる
“人財”を地域の多様な主体の共創により育成していく。

- ・地域産業の変化をチャンスにできる力を養う。
- ・循環型社会実践の実践により、社会的課題を付加価値に転換できる想
像力・創造力を醸成する。
- ・市内の高等教育機関等とビッグデータ分析などICT・デジタル教育で
連携を図る。
- ・絶えず革新し続ける最先端技術と滋賀の風土が培ってきた伝統産業等の
技と心を生かし、地域産業界と彦根工業高校が一体・同期化し、郷土愛に
あふれた人財の育成によって地域を活性化させる。

立地

古来より近畿圏・中部圏・北陸圏の結節点として位置づけられ、東海道新幹線、名神高速
道路等が通り、阪神・中央の大工業地帯へのアクセスも良い交通の要衝に立地。

風土

人、もの、情報が盛んに行き交う中で、国内外との交流により進取の気性などが培われ、
地域の特色ある文化や地場産業が形成。

学校

「ものづくりはひとり」という教育理念のもと、ものづくりのスペシャリストを養成
し、経済界、産業界、政界に多くの有為な人財を輩出している創立100年の伝統校。

『人間力の向上』『基本的知識・スキルの向上』『変化をチャンスに転換する力』

1年目

人間力の向上、技術を身につける
マイスターHSビジョンの策定
マイスターHS運営委員会・事業推進委員会
の設置

- ①ものづくりの歴史、近江商人の哲学(進取
の気性・三方よし等)、滋賀の起業人を知る
- ②最先端技術と企業における人材育成
国際意識の向上
- ③基本的ものづくりの知識、スキル、
持続可能な社会を考える I:
地域・地場産業の現状と社会的課
題を知る

2年目

起業家精神・最新技術に触れる

マイスターHS・CEOを教頭(常勤)として配置
産業実務家教員を教諭(常勤)として配置
①社会解決型ビジネスの展開について経営
者から学ぶ

- ②資格取得の推進による自己肯定感の向上・
視野を広げる
- ③最先端技術の活用:ドローン、プログラミン
グ等に触れる
- ④持続可能な社会を考える II:
地域の特性や強み、社会的
課題解決方法を模索する

3年目

成果の普及

事業の評価検証・改善、自走化方策の策定

- ①生徒による成果発表会の準備・企画
・運営
- ②資格取得の成果集大成:
自己肯定感の向上
- ③最先端技術の獲得:産業界と連携して
DX、IoT等、ICT技術を習得する
- ④持続可能な社会を考える III:
ビジネスモデル提案と
地域との連携

自走化

研究成果の
実証・改善の継続

全国フォーラムを主催
マイスター・ハイスクール
ハブ校として
全国に成果普及

本事業でめざすSDGs目標



連携予定
滋賀大学、滋賀県立大学等

地域産業界 彦根商工会議所

- ・マイスターHS・CEO
・産業実務家教員
- ・最先端技術
・彦根デジタル/スマート
バリエ構想の推進



滋賀県 教育委員会

- ・産官学と一体となった
カリキュラム研究
- ・産官学と一体となった
デジタル化の推進



- 地域産業の未来像
- ・ICT&歴史都市
 - ・伝統技術の伝承
 - ・起業家のまち
 - ・ものづくり市の確立
 - ・デジタル化の推進

グローバル市場への展開

- ・環境や安全・安心にこだわったものづくり
- ・伝統的な地場産業の維持・発展・地域に対する誇り
- ・「新たなチャレンジ」がしやすいまち
- ・社会的課題をビジネスで解決
- ・「人」を中心においた、先人から受け継ぐ挑戦し続
ける精神



マイスター・ハイスクール(次世代地域産業人材育成刷新事業)の採択結果について

令和3年5月18日

第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション、6次産業化等、産業構造や仕事内容は急速に変化しており、アフターコロナ社会においては、こうした変化が一層急激になることが予見される中、産業人材育成を担う専門高校においては、成長産業化を図る産業界と絶えず連動した職業人材育成システムの刷新・構築が喫緊の社会的要請になっています。これに対応するため、文部科学省では、成長産業化に向けた革新を図る産業界と専門高校が一体・同期化し、地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず進化する最先端の職業人材育成システムを構築し、成果モデルを示すことで、全国各地で地域特性を踏まえた取組を加速化させることを目的とした「マイスター・ハイスクール」事業を令和3年度より開始いたします。この度、事業を委託する機関を決定しましたのでお知らせいたします。

1. 採択する機関一覧(12機関)

管理機関			事業名	学校名	実施学科
学校設置者	産業界	地方自治体			
北海道教育委員会	JALしずない	新ひだか町	地域発次世代イノベーター人材の育成～持続可能な日高農業の創り手～	北海道静内農業高等学校	農業
福島県教育委員会	南相馬ロボット産業協議会	福島県(予定)	ふくしまの未来を創るテクノロジーロジスト育成事業	福島県立小高産業技術高等学校	工業、商業
新潟県教育委員会	株式会社能水商店	糸魚川市	未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築～糸魚川・能生から海洋リーダーを育てるLINKプロジェクト～	新潟県立海洋高等学校	水産
福井県教育委員会	ふくい水産振興センター	小浜市	若狭地域のWell-beingを実現するために地域水産業の成長産業化に貢献でき	福井県立若狭高等学校	水産

			る人材育成のための水産 海洋教育カリキュラム開発		
福井県 教育委 員会	株式会社 福井銀行	坂井市・ あわら 市	学科横断型DX研究による 次世代産業人材育成体制 の構築	福井県立坂井 高等学校	農業、 工業、 商業、 家庭
山梨県 教育委 員会	甲斐市商 工会	甲斐市	山梨ワイン発展のための 協働と若手技術者の育成 ～ワイン醸造学習を中心と したワイン県やまなしの地 域資源活用、地域活性化、 新たな価値を創造する職 業人材の育成を目指して ～	山梨県立農林 高等学校	農業
滋賀県 教育委 員会	彦根商工 会議所	彦根市	変化への挑戦(Challenge f or Change) ～進取の気性を生かし持 続可能な新たな地域産業 を共創できる技術人財の 育成～	滋賀県立彦根 工業高等学校	工業
岡山県 教育委 員会	銘建工業 株式会社	真庭市	自然・社会・人との対話で 育む真庭型産業人材育成 構想 ー「環境(SDGs)」×「アグ リビジネス」⇒豊かな生き 方・働き方ー	岡山県立真庭 高等学校	農業、 商業
広島県 教育委 員会	庄原商工 会議所	庄原市	地域の未来社会実装型農 業をデザインするアグリビ ジネスプレイヤーの創出 ～Think Globally, Act from Shobara ～	広島県立庄原 実業高等学校	農業
大分県 教育委 員会	おおいたA Iテクノロジー センター 株式会社 ピースカン パニー 全国農業 組合連合 会大分県 本部	大分県	農村漁村を牽引する担い 手確保・育成事業 ～農業系高校と産業界と の一体・同期化による次世 代担い手育成プロジェクト ～	大分県立大分 東高等学校・ 久住高原農業 高等学校	農業
宮崎県 教育委	一般社団 法人宮崎	延岡市	ひむか未来マイスター・ハ イスクール事業	宮崎県立延岡 工業高等学校	工業

員会	県工業会				
熊本県教育委員会	一般社団法人熊本県情報サービス産業協会	熊本県	優れた人材や技術の「X(クロス)【融合】」を追及し、DX時代の夢をつなぐ創造的エンジニアの育成 ～くまもとはじまる産業人材育成エコシステム～	熊本県立八代工業高等学校	工業

2. 審査状況

令和3年1月14日～3月8日の期間に公募を実施し、17件の申請を受けた後、「令和3年度マイスター・ハイスクール事業企画評価会議」において本事業の審査要項および審査基準に基づいて審査を実施しました。

3. マイスター・ハイスクール事業企画評価会議委員一覧

- 井上 潔 株式会社アーク・イノベーション代表取締役社長
- ◎大橋 弘 東京大学公共政策大学院院長
- 加藤 史子 WAmazing株式会社代表取締役
- 鎌田 信 秋田大学大学院教育学研究科教授
- 黒上 晴夫 関西大学総合情報学部教授
- 小池 聡 ベジタリア株式会社代表取締役社長
- 近藤 一海 農事組合法人ながさき南部生産組合会長理事
- 谷口 功 独立行政法人国立高等専門学校機構理事長
- 布川 元 前山形県大石田町教育長
- 藤田 晃之 筑波大学人間系教授
- 牧野 光朗 愛知学院大学特任教授（前長野県飯田市市長）
- 松原 宏 東京大学大学院総合文化研究科教授
- 三浦 秀樹 全国漁業協同組合連合会常務理事

宮本 健一 国立研究開発法人産業技術総合研究所連携企画部次長

(五十音順、敬称略) ※所属及び役職は令和3年4月1日現在 ◎:主査、○:副主査

お問合せ先

文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付 産業教育振興室

電話番号:03-5253-4111(代表)(内線2904)

E-mail:sangyo@mext.go.jp